

八重山毎日新聞 2024年6月2日掲載

セーリング楽しむ

石垣海洋少年団&石垣ジュニアヨットクラブ
小学生7人が体験・受講

セーリング体験を通して海あそびを楽しんだり、海洋環境について学んだりする体験型イベント「2024セーリング&ジュニアヨット体験in石垣」(石垣海洋少年団&石垣ジュニアヨットクラブ主催)が1日から始まった。

同イベントはセーリング

や自分を守るためのロープ結びの方法、ライフジャケットの着脱の仕方などを習得してもらおうと、今月の土日に計8回実施する。初回の1日は、小学3年、5年生の7人が受講。ロープワーク、ジュニアヨットクラブの講師がロープワーク、ライフジャケットの着脱方法をレクチャーし、子どもたちが実践。同クラブが操船するOP級ヨットに受講者がそれぞれ乗り、石垣漁港フィッシュアリーナから沖に向かって進んだ。

参加した子どもたちは、帆を捉えて進むヨットの操作を体験。沖にあるジュニアヨットスポットで泳ぎ、小魚と触れ合いサングラスを観賞した。

イベントは日本財団の海と日本プロジェクトの一

環。今月2、8、9、15、16、29、30の8日間予定。申し込み受け付けは終了している。



「2024セーリング&ジュニアヨット体験in石垣」沖に向かって進むヨット。1日午後、石垣漁港フィッシュアリーナ

八重山日報新聞

2024年6月2日掲載

海遊びイベント始まる

ヨット&シュノーケル体験

2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣（主催・石垣海洋少年団、石垣ジュニアヨットクラブ）が1日から石垣港フィッシャリーナを発着点に始まった。市内小学3年、中学3年の児童生徒とその保護者を対象に、ヨット体験やサンゴ礁のスポットでシュノーケリングが行われ、6月中旬に計8回の開催を予定している。



㊤2024セーリング&シュノーケリング体験in石垣の参加者の皆さん㊤石垣ジュニアヨットクラブの船で沖合に進む参加者らのポート＝1日、石垣港フィッシャリーナ



この日は6家族7人の児童が参加し、石垣ジュニアヨットクラブのメンバーが操縦するヨットで一緒に沖合まで風に乗って乗出した。サンゴ礁のスポットではライフジャケットを着用しながら、サンゴや魚を見て楽しんだ。

保護者も並走艇に乗船して一緒に体験し、親子で海遊びを満喫した。イベントは夏休み前に子ども達が海遊びを安全に楽しむためのもので、実際にライフジャケットを着用したり、自分を守るためのロープの結び方の学習、水上から海洋保護の重要性を感じることも、実体験を通して子ども達に伝えている。

子ども達が自分の身を守る方法や海洋教育について学ぶ体験型イベントとなっている。

石垣ジュニアヨットクラブの前田博代表は「島の子どもの中でも海で泳げない子が多く、観光客が楽しんでいるような

楽しい海遊びの感激するよくな体験をつくること

が我々の責務。海遊びを楽しんでもらえれば」と期待した。

イベントは日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。